

脂肪幹細胞を混合した脂肪移植（乳房再建） 臨床研究にご協力ください

関西医科大学附属病院 形成外科では、脂肪幹細胞を使った
新たな乳房再建（乳房の形を整える手術）の臨床研究をおこなっています

臨床研究とは？

治療薬や医療機器の開発、病気の原因や予防の仕方、新しい治療方法を開発したり、
患者さんのQOL（生活の質）の向上を目的に、人に対して行う医学研究です。



この臨床研究の対象となる方

- ① 乳癌に対し乳房温存療法術後、1年以上経過している方
 - ② 上記①の乳房温存手術時の臨床病期がT1かつNOMOの早期乳癌であった20才～79才の女性
（同側多発、両側乳癌の方は参加できません）
乳癌の組織学的所見としてエストロゲン受容体陽性（陽性細胞1%以上）であり、HER2は以下の
いずれかに該当する方
 - 原発巣の検体組織の腫瘍細胞中で、免疫組織染色（IHC）が（-）または（1+）の場合
 - 原発巣の検体組織の腫瘍細胞中で、IHCが（2+）かつFISH陰性の場合
 - ③ 乳癌に対する抗がん剤の投与歴がない方
- ※この他にも基準があります。検査結果によってはご参加いただけない場合があります

臨床研究のスケジュール

臨床研究
の説明

- 研究に関する詳しい説明を行います
- 参加基準を確認するため、検査を実施することがあります

手術

- 脂肪幹細胞を移植する方法を用いた乳房再建術を行います

観察期間

- 術後1週目、4週目、16週目、48週目に診察および検査を受けていただきます



実施診療科：関西医科大学附属病院 形成外科

担当医師：◎覚道奈津子・楠本健司

この治療は保険適用外であり、この試験の研究費を使用するため、治療費については患者様の自己負担はありません。詳しくは下記にお問い合わせ下さい。
※本臨床研究は、最初の段階として5名の患者さんにご参加いただく予定です。

《本臨床研究に関する問い合わせ先》

関西医科大学 臨床研究支援センター

TEL：072-804-0101（代表）

月～金（祝日を除く）9:00～17:00